

なるほど

かねがさきの

リサイクル

皆さんはどれくらいリサイクルに意識して取り組んでいるでしょうか。「しっかりリサイクルに取り組んでいる」「分別が面倒でリサイクルできるものも燃えるゴミで出してしまうことがある」「分別方法がよくわからない」というような場合があると思いますが、これからの未来のために今一度リサイクルについて考えてみませんか。ここでは、町のリサイクルの出し方・仕分け方を紹介します。



アルミ缶・スチール缶に分けてリサイクル



ペットボトルはキャップ・ラベルを外してリサイクル



生きピン・無色・茶色・その他に分けてリサイクル



古紙は新聞・段ボール・紙パック・その他紙類に分けてリサイクル



リサイクルでみんなが笑顔の
住みよいまちに

リサイクルする
ことを考えよう！

ごみは正しく分別し、処理することで、資源として再利用できます。
飲み終えたペットボトルや食べ終わった容器など、その人にとってはただのごみかもしれませんが捨ててばかりだとごみが増える一方です。ごみを燃やすことで二酸化炭素が増え環境に悪く、処理施設のコストも増加します。また、資源は減り、未来の子どもたちが住

みにくい環境になるかもしれません。今、一人一人が分別を意識してごみを資源として変えることができれば、きっと未来のためになります。
金ヶ崎町のごみの分別は14種類あり、そのうちリサイクルできるものが11種類あります。品目ごとに分け方、出し方があり、確かに分別は大変な作業です。出されたごみの中には正しく分別されておらず回収できないものもあります。リサイクルできるものはごみではなく、未来の資源。そう考える人が増えること

回収されないごみ
の誤を
考えよう！

で、ごみだけではなく環境に対する意識も高まっていくのではないのでしょうか。住みよい金ヶ崎町を守っていくため一人一人がリサイクルを意識して取り組みましょう。

私たちが捨てたごみの中には、回収できないものがあります。その行方を皆さんは考えたことがあるでしょうか。リサイクルステーションは自治会や公衆衛生組合の協力のおかげでいつもきれいで皆さんが使いやすい環境になっています。とてもありがたいことです。しかし、回収されないごみがあると、その処理は結局、ステーションを管理している自治会等が背負うことになってしまいます。

回収されないごみは、誰かの面倒くさいの固まりかもしれません。その行方を考えたいとき、ごみに対する意識が変わるのではないのでしょうか。小さな一歩を、みんなと一緒に踏み出し、明るい町をつくっていきましょう。



作業員が分別確認をしています



分別がしっかりされていないごみは回収できません

Interview

一人一人がルールを守り
美しいまちづくりを



金ヶ崎町公衆衛生組合連合会
会長 小野寺 邦男 さん

公衆衛生組合では、年間を通じてごみステーションの見回りやクリーン作戦など町の環境美化活動に取り組んでいます。また、各地区からの報告を受け、ごみステーションをきれいに保つための改善も行っています。一方で、ルールを守らず回収されないごみやリサイクルできる資源もごみとして多く捨てられているのが目につきます。これは様々な理由が考えられますが、まずはごみの分別など基本的なルールをきちんと学び一人一人がモラルを守ることが大切です。公衆衛生組合でも、今後も環境美化活動を継続するほか不法投棄の見回りも積極的に行っていきます。不法投棄のような犯罪や、回収できないごみをなくしていくには、住民の皆さんの理解と協力、また、行政との連携が必要です。みなでごみに対する意識を高め、美しいまちをつくっていきましょう。